

2025 年 11 月 18 日

## 韓国に研究開発拠点「エアバス・テックハブ」を設立

エアバス（本社：仏トゥールーズ、最高経営責任者：ギヨム・フォーリ）は 18 日（韓国テジョン時間）、韓国における「エアバス・テックハブ」の設立を発表しました。韓国の研究開発の中心地であるテジョンを拠点とし、共同研究と革新技術の開発を専門に行います。これにより、戦略的技術パートナーとして、韓国との関係を強化します。

エアバス・テックハブは、韓国の産業上の強みを活かした主要研究分野が 3 つあり、未来のエネルギー技術、最先端の軽量複合材料、次世代の防衛・宇宙技術に焦点を当てます。

韓国のエアバス・テックハブは、産業通商資源部（MOTIR）およびテジョン広域市と緊密に連携して設立が進められています。

エアバスのマーク・ベントール R&T プログラム責任者は次のように述べています。「韓国とは 50 年にわたる産業協力関係を築いており、テジョンにエアバス・テックハブを立ち上げることによって、さらにその関係性を深めていきます。韓国の先進技術を活用することができ、将来の航空機技術開発を促進、韓国と信頼性の高い長期的パートナーシップを発展させていきます。テジョンは世界クラスの R&D 機関と人材が集積する理想的な場所です。先進的な学術知識と高度な産業技術の相乗効果が見込め、エアバス・テックハブは航空宇宙業界を前進させる将来技術の共同開発に不可欠な拠点となるでしょう」

テックハブの任務を加速するため、エアバスは設立式典で 3 つの覚書（MoU）を締結しました。

産業通商資源部と締結した MoU では、高度な技術力を誇るテジョンにおいてエアバスが研究・イノベーションプロジェクトを迅速に開始できる枠組みを確立します。

テジョン市と締結した MoU では、テジョンにおけるあらゆる技術分野にわたり、エアバスの研究・イノベーションに対する支援と促進が確約されます。

韓国貿易協会（KITA）と締結した MoU では、KITA のオープンイノベーションプラットフォームを活用し、エアバスの重要技術分野に基づく新パートナーの特定と参加を促進します。

韓国のエアバス・テックハブ設立で発表されたプロジェクトのひとつは、LIG Nex1 と提携し、通信信号の送受信に使用される宇宙用チップアンテナ技術の開発です。また、エアバスは EMCoretech と協力し、電動化に必要な、電磁干渉を抑制するアクティブフィルタリング技術を開発しています。

韓国との関係は 50 年以上前の 1974 年に、大韓航空が A300B4 を発注したことから始まりました。以来、韓国はエアバスの民間航空機、防衛、宇宙、ヘリコプター製品全体にわたる主要な顧客でありパートナーでもあります。

**Follow us**

If you wish to update your preferences to Airbus Communications, [media@airbus.com](mailto:media@airbus.com)

If you no longer wish to receive communications from Airbus, [media@airbus.com](mailto:media@airbus.com)

韓国におけるエアバスの大きな産業基盤は、韓国航空宇宙産業（KAI）や大韓航空航空宇宙事業本部（KAL-ASD）などのティア 1 サプライヤーとの長年にわたるパートナーシップによって支えられています。これらの産業パートナーは、A320、A330、A350 ファミリー向けの主翼構造、胴体組立、複合材など、エアバスの民間航空機プログラムにおける重要なコンポーネント製造に参画しています。韓国の多くの中小企業もサプライチェーンに貢献しており、エアバスによる韓国での調達は今現在、約 6,000 人の高技能雇用を維持し、年間約 6 億米ドルの貢献を地域経済にもたらしています。

韓国のテックハブは、最近釜山に開設したエアバスの完全子会社である複合材料技術センター（CTC：Composite Technology Centre）が補完します。CTC は、釜山テクノパークと協力し、航空宇宙向けの先進的な複合材料とその製造・加工技術の研究開発を行うことを目的としています。

韓国のエアバス・テックハブは、日本、オランダ、シンガポールに続く、4 番目の世界的なエアバス研究開発拠点のひとつです。エアバス・テックハブの目的は、業界リーダー、学術機関、政府機関、スタートアップとの協力関係を促進し、航空宇宙分野における技術革新の可能性を追求することです。

## Newsroom

リリースに関するお問い合わせ先：エアバス・ジャパン株式会社

藤宗宇多子  
03-5775-0133  
[utako.fujiso@airbus.com](mailto:utako.fujiso@airbus.com)

野坂孝博  
03-5775-0129  
[takahiro.nosaka@airbus.com](mailto:takahiro.nosaka@airbus.com)

## Follow us



If you wish to update your preferences to Airbus Communications, [media@airbus.com](mailto:media@airbus.com)  
If you no longer wish to receive communications from Airbus, [media@airbus.com](mailto:media@airbus.com)